

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 21 日

事務事業名		防犯灯管理助成事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	030202000691	
						単独/補助	単独	所属課	030301	
政策体系	総合計画の施策名		0302 防犯・消費生活対策の推進				課長名		生活環境課	
	政策名		03 安全安心な暮らしのまちづくり				グループ		市民活動・交通安全G	
	施策名		02 防犯・消費生活対策の推進				担当者名			
	手段名		02 ②防犯体制と施設の充実							
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	14	01	00	防犯対策事業			
法令根拠	桜川市防犯灯管理補助金交付要項					単年度繰返し (平成19年度～)				
	【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)					期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入				

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	安全安心な暮らしのまちづくりのために、行政区が維持管理する防犯灯について、桜川市内全120行政区を対象に、電気料及び維持管理費として1基当たり1,000円を補助する。	交付基準日は4月1日現在で行政区が管理している防犯灯について、申請により補助金を交付する。 ・申請のお知らせ送付 ・補助金確定通知送付、補助金支払い

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
行政区で管理している防犯灯に対し、1基1,000円の補助金を交付する。	行政区の数	区	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
行政区管理の防犯灯	行政区管理防犯灯数	基	3,866.00	3,907.00	3,952.00	3,992.00	4,032.00
	補助申請した行政区数	区	119.00	119.00	119.00	119.00	119.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
補助金を交付することで、防犯灯維持管理費用の行政区負担を軽減する。	補助する防犯灯数	基	3,866.00	3,907.00	3,952.00	3,992.00	4,032.00
	補助金額	千円	3,866.00	3,907.00	3,952.00	3,992.00	4,032.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
		国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	3,866	3,907	3,952			
		事業費計(A)	千円	3,866	3,907	3,952			
		正規職員従事人数	人	4.00人	4.00人	4.00人			

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)		
	金額	比率	内容	金額	比率	内容
	18 負担金補助及び交付金	3,907		18 負担金補助及び交付金	3,952	
	合計	3,907		合計	3,952	

事務事業名	防犯灯管理助成事業	事務事業No.	30202000691	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
合併前から岩瀬地区で実施されていた夜間の防犯対策と行政区の負担の公平性と均衡を図るため、実施している。合併当時は岩瀬地区のみの補助であったが、平成19年度に各地区の防犯灯管理状況を統一し、補助要項を定めた。平成19年度より真壁地区、平成20年度より大和地区の補助を実施している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
平成19年度に議会から防犯灯の管理方法と統一するべきとの意見があり、平成20年度から統一して補助している。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 防犯灯の維持管理に対して補助金を交付することにより、防犯灯を常に良好な状態に保てるので、総合計画の「安全安心なくらしのまちづくり」に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地区の費用のみで数多くの防犯灯を維持管理し続けることは難しく、市民の安全を図る防犯灯に対して、管理地区に補助をすることは妥当である。	
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 地区が管理している防犯灯に対して行っているため、向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 地区の防犯灯管理の意欲が低下する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 現時点では類似する事業はない。	
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 毎年防犯灯は増加しているため、事業費も比例して増加していく。事業費削減のため、補助率・補助額を下げれば、地区の防犯灯を管理する意欲の低下が懸念されるため、削減の余地はない。補助金交付の事務に対する人件費のため、削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全域を対象として、全ての防犯灯1基1,000円で同額としているので、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	年々地区からの防犯灯の新規設置の要望が増え、地区で管理している防犯灯の数は増加しており、それに伴い補助総額が増加している。水銀灯等からLEDへの交換により電気料自体は安くなっているが、LED化の際に交換費用を地区で負担しており、交換費用を償還するには7年かかるため、地区の防犯灯管理による負担はLED化以前と大きく変化していない。																											
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持		○																										
低下	維持																												
	低下																												
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																											
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>